

精神保健福祉ソーシャルワーク演習

[演習] 第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》 奥田 かおり k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp 橋本 菊次郎 鈴木 和 向谷地 生良

【概要】

精神保健福祉援助の知識と技術について実技指導（ロールプレイング等）及び事例を通して実践的に学ぶ。

【学修目標】

1. 精神障害についての理解を深め、精神障害者に対して共感的に接することができる。
2. 精神保健福祉援助の実践から専門的な支援の視点や在り方が理解できる。
3. 精神保健福祉における個別支援のプロセスを理解し、計画策定ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	全体オリエンテーション	授業概要、ソーシャルワーク演習との連関について理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
2	基本的な援助技術1	基本的な援助技術（面接技法の統合）について理解し、示すことができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
3	基本的な援助技術2	基本的な援助技術（インテークと契約）について理解し、示すことができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
4	基本的な援助技術3	基本的な援助技術（アセスメント）について理解し、示すことができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
5	基本的な援助技術4	基本的な援助技術（プランニング、支援の実施）について理解し、示すことができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
6	基本的な援助技術5	基本的な援助技術（モニタリング、効果測定と支援の評価）について理解し、示すことができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
7	基本的な援助技術6	基本的な援助技術（終結とアフターケア）について理解し、示すことができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
8	課題別精神保健福祉援助事例1	現場を想定した学習として、社会的排除、就労、教育について理解し、自分の考えを述べることができる。	東海林義孝(特別講師) 藤井 雅邦(特別講師) 向谷地、橋本、奥田、鈴木
9	課題別精神保健福祉援助事例2	現場を想定した学習として、ピアサポートについて理解し、自分の考えを述べることができる。	東海林義孝(特別講師) 藤井 雅邦(特別講師) 向谷地、橋本、奥田、鈴木
10	課題別精神保健福祉援助事例3	精神保健福祉の領域における、自殺について理解し、自分の考えを述べることができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
11	課題別精神保健福祉援助事例4	精神保健福祉の領域における、虐待について理解し、自分の考えを述べることができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
12	課題別精神保健福祉援助事例5	現場を想定した学習として、薬物・アルコール依存について理解し、自分の考えを述べることができる。	柴内 崇(特別講師) 向谷地、橋本、奥田、鈴木
13	課題別精神保健福祉援助事例6	現場を想定した学習として、貧困、低所得、ホームレスなど、地域におけるソーシャルワーク実践について理解し、自分の考えを述べることができる。	高田 大志(特別講師) 向谷地、橋本、奥田、鈴木
14	課題別精神保健福祉援助事例7	現場を想定した学習として、医療観察法、危機介入、退院支援など、地域におけるソーシャルワーク実践について理解し、自分の考えを述べることができる。	高田 大志(特別講師) 向谷地、橋本、奥田、鈴木
15	次年度の実習・演習にむけて	授業のまとめとして、これまでの学習を関連付け、自分の考えを述べることができる。	向谷地、橋本、奥田、鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業への主体的参加態度（30%）及び課題レポート（70%）

【教科書】

使用しない。必要に応じて講義資料を配布する。

【参考書】

その都度紹介する。

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉援助演習（専門）」に該当する。

【学修の準備】

予習は、次回の授業で行う援助技術や事例について講義で学んだ内容を復習しておくこと（80分）。

復習は、授業で取り上げた学習内容について体験を振り返り、理解を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4,5

【実務経験】

向谷地生良（精神保健福祉士）、橋本菊次郎（精神保健福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、鈴木和（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な演習を行う。